

# 新型コロナ専用仮設病棟の整備に着手

## 一般会計補正予算

【第7号】 **877億4,996万2千円**

【第8号】 **21億3,961万1千円**

【第9号】 **414億7,054万5千円**

朝霞から埼玉県を**変**える!

埼玉県議会議員

# 松井ひろし

令和2年(2020年)秋号 **県政報告**

発行 埼玉県議会自由民主党議員団

埼玉県議会議員 松井ひろし県政調査事務所

## 前回補正に次ぐ大型補正予算で体制強化へ

県議会9月定例会は9月24日に開会し、一般会計補正予算【第7号】877億4,996万2千円、【第8号】21億3,961万1千円、【第9号】414億7,054万5千円の計上などを議決し、10月14日に閉会しました。(一般会計補正後累計 2兆3,083億9,014万4千円)

新型コロナウイルスの感染が警戒を要するレベルで続く中、補正予算【第7号】では専用医療施設の整備をはじめとする入院医療機関の体制強化のため、690億9,323万3千円の計上を決めました。具体的には、新型コロナウイルス感染患者専用の仮設病棟を運営する医療機関を公募し、その医療機関の敷地内や隣接地にプレハブを建て、約320床を確保していく計画です。また、入院医療機関への支援はもとより、人工呼吸器やECMO(エクモ)等の設備整備への支援もさらに強化していきます。

その他、県内の経済活動の回復と「新しい生活様式」への対応として、観光関連事業者への支援や中小企業のオンラインでの販路開拓への支援策等に6億89万3千円の予算が盛り込まれています。

### 新しい生活様式

「新しい生活様式」を心掛けることで、感染症の拡大を防ぎ、自分の、みんなの「命」を守ることにつながります。

基本1	基本2	基本3
社会的距離の確保 <b>離れて</b>  お並びください	マスクの着用  (食事中以外)	手洗い 手指の消毒に  ご協力ください

- 人との間隔はできるだけ2m空ける。
  - 会話をする際は可能な限り真正面を避ける。
  - 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
- ※高齢者や持病があり重症化リスクの高い人と会う際は、体調管理を普通より厳重に。

## 季節性インフルエンザの流行期に備えるため

# 高齢者のインフルエンザワクチンを無償化へ

補正予算【第8号】では、新型コロナウイルスに感染すると重症化するリスクの高い高齢者などを対象

に、インフルエンザのワクチン接種を無償化するために、21億3,961万1千円の予算計上を決めました。

無償化の対象となるのは65歳以上の高齢者と60歳～64歳の基礎疾患のある方などです。インフルエンザの流行がピークとなる1月～2月頃に備えるため、期間は10月～12月としています。



## 感染拡大期に対応した医療提供体制の整備

### 入院医療機関の更なる体制強化と専用医療施設の整備

**拡充** 入院医療機関の体制強化への助成  
549億1,050万3千円

**新** 専用医療施設の整備への助成  
37億5,400万円【債務負担行為：4億4,000万円】

#### ◆ ピーク時病床1,400床への備え

##### ○患者受入れ体制への支援

- ・入院患者受入れに対する協力金
- ・看護職員への手当助成
- ・病床確保のために生じる空床・休床への補償

##### ○設備整備への支援

- ・超音波画像診断装置、血液浄化装置、人工呼吸器、体外式膜型人工肺 (ECMO) など

#### ◆ 専用医療施設による受入れ体制拡充

- ・病院が敷地内または隣接地にコロナ専用病棟(仮設)を整備する経費を補助
  - ・既存病床と別棟で新たな病床を配分
  - ・一般患者と分離することで、院内感染リスクを低減
- ⇒ 一般患者や手術件数の増加により、一般医療の機能回復へ



# かかりつけ医での診療・検査体制を整備へ

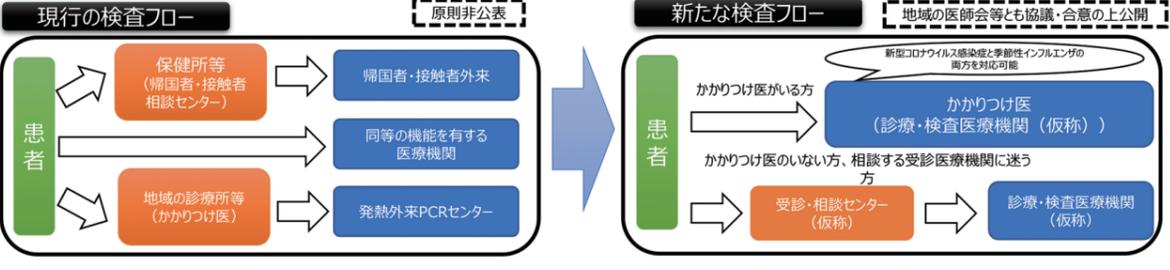
県議会9月定例会では、季節性インフルエンザの流行期に備えるため、さらに補正予算【第9号】414億7,054万5千円の計上を議決しました。国による予備費の支出決定を受けての予算措置ですが、身近な医療機関で新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの両方を診療・検査できる体制の整備をはじめ、重点医療機関の病床確保に対する助成費の増額、抗原検査費用の増額、生活福祉資金の特例貸し付け事業への補助金の増額が盛り込まれています。

新型コロナに関しては、これまで保健所に設置されている「帰国者・接触者相談センター」で対応してまいりましたが、これからは発熱などを訴え、新型コロナかインフルエンザかの判断が難しい患者が増えると予想されるため、地域のかかりつけ医を窓口とすることで、より多くの患者に対応して検査できるようになります。なお、両方を診ることができる医療機関は、県が地域の医師会と協議の上指定し、随時発表しています。

県の財政状況も厳しくはありますが、引き続き新型コロナウイルス感染症対策に全面的に取り組んでまいります。皆さまのご指導・ご鞭撻をより一層賜りますようお願いいたします。

## 次のインフルエンザ流行に備えた体制整備について

・季節性インフルエンザの流行期には多数の発熱患者の発生が予想されるが、新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザを臨床上に鑑別することは困難である。  
 ・これまでの検査体制では、多発する発熱患者を診療、検査することが困難であるため、住民の身近な医療機関で新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの両方を診療・検査できる新たな体制を10月をめどに整備する。



## 視察

## 令和会 県内視察報告

県議会自民党議員団1期の会「令和会」で、県内の先進的な取り組みや実践現場などを視察しています。その中から7月～9月の視察を報告します。

### 新型コロナと闘う最前線 ふじみの救急クリニック



リスクを覚悟で地域の健康と医療において献身的な役割を果たしている、三芳町のふじみの救急クリニックを視察しました(7月14日)。  
 新型コロナウイルス感染症のPCR検査を24時間体制で実施し、1日約300件の検査をされているとのこと。診療の邪魔にならぬよう外で、鹿野晃院長にお話を伺いましたが、医療機関が抱える様々な課題についても知ることができました。

### 渋沢氏の偉業を大事にした街づくり 深谷市・渋沢氏ゆかりの地

深谷市役所新庁舎の視察を兼ねて近代日本経済の父といわれる渋沢栄一氏ゆかりの地、深谷市を巡りました(9月15日)。  
 渋沢栄一氏は来年のNHK大河ドラマ「晴天を衝け」の主人公であり、新一万円札の顔となる方です。深谷市が誇る渋沢氏の偉業を大事にしなが、街づくりを進めている様子がよく分かりました。



※撮影時のみマスクを外しています。

### 新たなポップカルチャー発信拠点 ところざわサクラタウン

日本最大級のポップカルチャー発信拠点として期待される、所沢市の「ところざわサクラタウン」を視察しました(9月3日)。

KADOKAWAと所沢市との共同プロジェクト「COOL JAPAN FOREST構想」の中核施設として整備されており、11月6日のグランドオープンに向けて着々と準備が進められていました。



### 事務所への訪問・相談も大歓迎!!

県政に対するご意見やご要望など、何かございましたらお気軽にご相談ください。

お電話、メール、FAX だけでなく、事務所での相談も随時させていただきます。不在の場合が多いため、事前にご連絡を頂いてからご訪問下さるようお願いいたします。

埼玉県議会議員

## 松井ひろし県政調査事務所

〒351-0011 朝霞市本町 3-4-17 ☎048-483-4256

FAX 048-483-4257 ✉info@matsuihiroshi.com

ホームページ <http://www.matsuihiroshi.com/index.html>